

一 般 質 問

平成26年6月18日（水）

12番 蜂谷三雄 議員

1. 政府の「農業改革」の動向に対する見解について

①政府の規制改革会議においてこの5月に「農業改革に関する意見」がとりまとめられ、関係団体や生産者から不安の声や強い異論表明が相次いでいる。とりわけ、農業参入の規制緩和や農業委員会、農協組織にまで踏み込んだ内容となっており、この国の農業の姿を大きく変える意見が列挙されている。そこで、これらは石狩の農業にも直接影響が及んでくることは明らかで、以下3点について見解を伺いたい

イ. 大幅な農業参入の規制緩和について

ロ. 農業委員の公選制廃止や農業団体からの推薦枠の廃止等々農業委員会の見直しについて

ハ. 農協役員の外部登用や上部組織の廃止など農協組織の見直しについて

2. 地域防災力の強化について

①昨年12月に「消防団を中核とした地域防災力充実強化に関する法律」が国会において全会一致で議決され施行されている。消防庁は、この法律を踏まえ、消防団員確保、処遇の改善、装備の充実をはかるため「対策本部」を設置し具体的な推進事項を示している。本市における現状と改善見通しについて

3. 学校給食での食育について

①食物アレルギー体質を持つ児童・生徒への学校給食の現在の状況と食育の観点を重視した今後の改善策について

4. 花川通延伸計画について

①延伸計画が進んでいるが、遮断緑地切断や防風林の伐採など開発当初の都市計画から大きな変更となる。交通渋滞は延伸したとしても解消は難しいと考える。渋滞要因の正確な調査に基づく対策を

5. 合併新市建設計画について

①総合的な視点からの問題提起は別な機会に行う予定だが、事業として計画されている3事業について伺う

イ. 浜益区の特養ホーム増設とケアハウスの建設

ロ. 浜益区郷土資料館のリニューアル

ハ. 道の駅構想

1. 道徳教育用教材「私たちの道徳」について

- ①当市における活用状況についてと、今後の活用に対する指導について。
- ②置きっぱなしの状況について調査・把握はなされているのか。

2. 本町地区の観光振興施策について

- ①交通渋滞への対策。特に国道231号線から本町へ向かう約4キロメートルの区間について。
- ②「あそびーち石狩」開設による地元への経済効果などを把握されているのかどうか。
- ③施設整備など、今後の本町地区観光振興施策に関してどのようなビジョンをお持ちなのかお伺いします。

3. 土地開発公社の解散時期について

- ①解散に向けて保有地の処分概要及び活用財源のスキーム(枠組み)についてお伺いします。
- ②現時点で処分目途が決まっていない保有地の活用見通しについてお伺いします。

4. 公共施設等総合管理計画の策定について

- ①「公共施設等総合管理計画」取り組みに関する基本的な考え方と計画策定の目標年度について。
- ②公共施設等の情報管理・集約する部署、つまり部局横断的な取り組み体制の構築を求めていますがこの件についての考え方について。
- ③PPP及びPFIの活用の考え方についても検討を求めています、この件について。
- ④現在、本市で取り組んでいる「橋りょう長寿命化修繕計画」・「公園施設長寿命化計画」・「公営住宅等長寿命化計画」などとの関わりについてお伺いします。

5. 消防親船支署跡地利用及び新しい防災ひろばでの訓練計画について

- ①消防親船支署跡地利用について
- ②新しい防災ひろばでの訓練計画について

1. 集団的自衛権行使容認について

- ①石狩市は、平成6年に平和都市宣言を制定している。その宣言に込められた想いは、世界唯一の被爆国である我が国として二度と惨禍を繰り返さない不戦の誓いと世界の恒久平和への願いである。しかし、その想いと乖離をみせる今般の集団的自衛権行使容認への動きは、当該宣言の理念を踏みにじるように思えるが、市長はどのようにお考えか見解を伺う。
- ②また、この事案につき何らかの意思表示や行動など起こすお考えはないか伺う。

2. 花川通延伸について

- ①花川通延伸については、合併当時の新市建設計画にも示されていたが、そこには、花川通を道道へ昇格することで、おのずと北海道が主体となるように示されていた。現在、追分通が道道であることや、延伸の目的及び道路の性格面を考えても道道であることが望ましいと考えるが、北海道へ要請を行う考えはないか伺う。

3. 臨時給付金支給について

- ①消費税増税後、特に影響が大きい住民税非課税世帯を対象とする「臨時福祉給付金」及び関連施策である「子育て世帯臨時特例給付金」について、現段階で支給等の案内が無いが、各制度の対象者、金額、支給スケジュールについて伺う。

4. マイナンバー制度について

- ①マイナンバー制度において、新システムが導入されることとなるが、この制度のメリット、デメリットについてどのようにとらえているか伺う。
- ②これまで度々問題となっていた既存のシステムの更新費用だが、システム統合によって解消されることになるのか伺う。
- ③今後における導入のスケジュールについて伺う。

5. 手話条例制定にともなう施策の推進について

- ①本年4月に手話条例が施行されたが、市民の意識向上以前に、一体どのように関わって良いのか、あるいはどのように関わるべきなのか、戸惑いを感じている市民が多くいる。この現状を踏まえ、施策をどのように推進されていかれるのか考えを伺う。